つなセン NEW』 No.25 2022 www.tsuna-cen.com

# 活動履歴と今後の予定

10/2 あすと長町第三みのり会役員会

10/16 錦町東住宅一斉清掃/役員会

10/19 東北大学大学院学生ヒアリング対応

10/24 北浜住宅役員会

10/25 塩釜市被災者見守り・相談支援調整会議

11/1 第4回理事会

11/4 つながリッキー読売新聞取材対応

11/20 錦町東住宅役員会

11/22 つながリッキー読売新聞に掲載

11/26 「協力のテクノロジー」に関するヒアリング対応

12/12 北浜住宅役員会

Wi-Fi サロン 2ヶ所で開催中!

<つながリッキー@あすと第二> 開催日:毎週金曜13:30~15:00

※12/30, 1/6は年末年始のためお休みです。

場所:あすと長町第二市営住宅集会所(太白区長町6-5-13)

参加費:大人100円、高校生以下無料

主催: 就労移行支援Rickyクルーズ、つなセン 協力: あすと第二市営住宅住民の会

<田子西スマホサロン>

開催日時:毎月第4土曜13:30~15:00

場所:田子西住宅集会所(宮城野区田子西1-11)

参加費:無料

主催:田子西町内会 協力:つなセン、東北学院大学災害ボランティアステーション、 東北大学課外・ボランティア活動支援センター

お気軽に ご参加 ください!

会員数 正会員 賛助会員

いいね!数

f facebook

2022年12月1日 現在(前号比

# 入会のご案内/寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域 へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費 や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金 控除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 https://tsunacen.thebase.in/



#### 継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。

- ・正 会 員:年間6,000円・総会議決権あり
- ・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

#### 寄付のお振込先

- <口座名義>特定非営利活動法人つながりデザインセンター
- ●郵便振替:02230-8-121908
- ●郵便振込:ゆうちょ銀行 二二九支店 (ニニキュウ) 当座預金 0121908

### 会員団体のみなさま。

一般社団法人入居サポートセンター・みやぎ SD不動産 NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねいと」

株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 スタジオまめちょうだい 仙台白百合女子大学 佐々木研究室

> 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室 東北学院大学 坂本研究室 長崎大学 安武研究室 宮城厚生協会長町病院 有限会社栗駒建業

## 役員名簿

代 表:薄田榮一 副代表:新井信幸 理 事:加藤涉

理 事:松原久

事:マリエリザベス

事:松村 翔子

事:金沢 和樹

監事:佐々木裕子

# 編集後記

先日、「南三陸ワイナリー」に行ってきました。震災後 に水産加工場として建てられたプレハブが、お洒落な カフェバーと醸造所に生まれ変わった施設です。復興 支援から地域おこし協力隊を経て起業したオーナー にもお話聞けました。海の波動で熟成が早まる海中 熟成ワインが有名で、スーパーのワインの10倍の値 段でしたが思い切って購入しました。いつ飲めば良い のかわからず、まだ大事にとってあります。W杯で日本 が優勝したときにしようかと思案中です。〈新井〉

# 認定NPO法人 つながりデザインセンター

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

080 - 3205 - 5177TEL MAIL asuto@tsuna-cen.com www.tsuna-cen.com







公営住宅の住民共同管理の実情

荒浜の多世代交流拠点事業からの撤退

シェアハウス歓迎会

居住福祉賞を受賞

【団体紹介】よーし・えんぐみcafe-sendai

www.tsuna-cen.com

つなセン NEW」 つなセン NEW』 No.25 2022 www.tsuna-cen.com No.25 2022 www.tsuna-cen.com

# 活動報告

Main Topic



# 民営共住 0 理

# 行の是非

空間、集会所等の共用部の管理が、原 則住民に委ねられています。それは災 害公営住宅でも同様で、自治会等の住 民組織が担っています。つなセンが支しにくくなっている状況の中で、どうに 援している仙台・塩釜市内の災害公営 住宅でも、おおむね月に一度、あるは 数ヶ月に一度、住民が集まって共用部 の清掃を実施しています。しかし、それでは共同管理が立ち行かなくなってい らに参加する世帯は2、3割程度に留 まっているところも多く見られます。そう したことから、当日不参加の場合は、別 の日に個別に清掃するか、協力金とし





▲月2回実施されているリッキークルーズ利用者さんらによる清掃活動

て500円程度を支払うか、義務の果たし 方に選択肢を設けているところもあり ます。あすと長町第二市営及び第三市 営住宅では、リッキークルーズ(株式会 公営住宅では、共用廊下・階段、屋外 社ミツイ・つなセン会員)の就労移行支 援プログラムの利用者さんらが毎月2 回、清掃を担ってくれています。そのよ うにして、高齢化により住民自治が機能 かやり繰りしているのが実情です。

> 一方、先日、宮城県内のとある市議会 にて、超高齢化している災害公営住宅 ることから、業者管理への移行を求め るやりとりがありました。すでに東京都 等では、業者管理へ移行している自治 体もみられます。つなセンでも、復興の 助成金が得られなくなってきたことか ら、支援の継続が困難になりつつある なか、そうした議論もやむを得ないので はないかと感じているところです。



▲鍵の管理や清掃が欠かせないゴミ置き場



▲みのり会(あすと長町第三市営住宅)の役員 フロア長会

# 住民管理が欠かせない ゴミ置き場

業者管理への移行が難しい部分もあります。例えば、ごみ置き 場の管理です。最近の公営住宅では、不法投棄防止のためゴミ 置き場に鍵を設置するところがみられますが、そこでは清掃車が 回収にくる時間帯に合わせて鍵の開閉が必要になりますが、そこ は住民でないと担えないところだと思っています。あすと長町第 三市営住宅では、当番制などで円滑に管理していけるよう、つな センがルールづくりやその周知等を支援してきました。

# 共同管理を 公的に支援する仕組みへ

それ以外の部分を業者管理にすればよいという意見もあると思 いますが、そうしたごく少ない役割のために、共益費を集めて役員 会や総会を運営していくという体制も現実的ではないように思わ れます。そのため、現行の住民による共同管理の範囲は概ね変更 せず、住民組織(管理組合)の運営などを支援する仕組みを導入 するのがベターだと考えています。年に数回、共益費を集めるとい う行為自体、顔見知りをつくり、緩やかなつながりをつくる上で有 効な手段だと思っています。共同管理の問題については、今後も



▲就労移行支援プログラムの清掃活動により快適な環境が維持されているあすと

## 団体紹介 No.25

# よーし・えんぐみcafe-sendai



特別養子縁組制度の普及と家族への支援を通じ て、多様な家族のあり方が当たり前に受け入れられる 社会をつくることを目的に、2017年から活動していま す。中心メンバーはケイコ、カオリ、アイの3人。

養子縁組家族もそうでない人も、気軽に養子縁組に ついて話ができ、当事者家族と知り合う場をつくること で、特別養子縁組を身近に感じてもらい、また縁組後 の家族が悩みを抱え込まず孤立しないことを目指して います。

今年4月からは、毎月1回「月いちよーし・えんぐみ cafe | の開催を始めました。毎回設定しているトーク テーマは、子どもへの伝え方から周囲の人との関係ま で幅広く、アットホームな雰囲気の中で話が広がりま す。関心がある方はどなたでも参加できますので、ぜ ひ一度足を運んでみてください。

【月いち よーレ・えんぐみ cafe-sendai】 《日時》原則毎月第3火曜日 10:30~12:30 〈会場〉キッズプラス仙台(青葉区大町2-12-13) 〈お問合せ〉44cafe.s@gmail.com 〈フェイスブックページ〉http://www.facebook.com/44cafe.sendai/

**Topics** 

# 荒浜の多世代交流拠点事業からの撤退

2020年7月から携わってきました、仙台沿岸被災地の荒浜の移転利用 跡地を活用した多世代交流拠点事業から撤退することになりました。こ こでは詳しい内容は控えさせていただきますが、会員のみなさまをはじ め、多くの方々にご協力、ご支援をいただいてきたにも関わらず取り組 みをまっとうできず大変申し訳なく思っております。それでも、この2年余



りの取り組みで得られた知見(知 識・情報等)、経験、そして新たなつ いがりは、次の機会に必ずや活か ていきたいと考えています。また 荒浜の復興においても形を変える ことになりますが、今後も継続して 携わっていきたいと思っています。

# シェアハウス歓迎会

10月のある日、菜園付きシェアハウ ス長町南に新たな入居者が加わり ささやかな歓迎会を開催しました。入 居されたのは東京の医学系の大学 に通う中国出身の方で、在仙の大 学で共同研究を行うため、来春くら いまで仙台で暮らす予定とのこと



です。日本語も英語も堪能で、言葉のコミュニケーションで困りそうなとこ ろはありませんが、共同生活が初めてということで、少し不安もあったよう でした。それでも他の入居者さんとすぐに打ち解けて、その後も仙台シェ ア暮らしを楽しんでいるようです。12月現在、1部屋空きがありますが、内 見予定も数件あり、新しい年にはまた新しく入居があるかも知れません。

# 居住福祉賞を受賞

つなセンが2022年度居住福祉賞を受賞しました。居住福祉賞は 居住福祉に取り組む団体や個人を対象に日本居住福祉学会が授 与する賞で、「東日本大震災の仮設住宅におけるコミュニティ形成 の蓄積を他地域のまちづくりにも応用させ、居住者と外の力を緩 やかにつなぎ、地域福祉の向上を図る活動」という評価を受けまし

た。このような栄えある賞の受 賞を糧に、今後もコミュニティ支 援を中心に時代が求める住ま いまちづくり活動に果敢にチャ レンジしていきたいと思ってい

〈選定理由:一部抜粋〉つながりデザインセンターは、復興コミュニ ティデザインというコンセプトを提案している。それは、復興過程 において被災者一人ひとりが自立にむけて、前向きに暮らしてい けるよう、コミュニティの維持や形成を支援していくことを意味す る。その原点は、バラバラの地域からあつまった「あすと長町仮設 住宅 | の居住者同士によるコミュニティ形成の模索であった。この ような経験を復興公営住宅における居場所づくりに活かすだけで なく、公共住宅のみならず空き家でのシェアハウス運営やブック レット発行、まちづくり系企業など新たな関係者との連携を通じた 新たなプロジェクトを模索している。センターは、仮設住宅におけ るコミュニティ形成の蓄積を他の地域のまちづくりに応用させ、居 住者と外の力をゆるやかにつなぎながら一人ひとりの well-being、そして地域のwell-beingの実現と向上に貢献する活 動を展開している。ICTの活用や自治組織と企業とのつながりづく りなどである。新しい形での居住福祉の実現とその展開に期待し